

「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」 第1回推進会議の概要について

三重県の新しい長期の戦略計画である「みえ県民カビジョン」に基づき、県民の皆さんの持つさまざまな力を結集して取り組む「新しい豊かさ協創プロジェクト」に、委員として参画いただく皆さんと知事との意見交換をおこなう全体会議を平成24年7月8日(日)に開催しました。

また、全体会議に引き続き、5つのプロジェクトの1つである「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」の第1回推進会議もあわせて開催しました。

第1回推進会議には、6名の委員のうち4名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の杉田 正明氏にご出席いただきました。

なお、第1回推進会議の概要は、以下のとおりです。

「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

伊藤 亜衣美 (三重バイオレットアイリス
選手 ハンドボール)

※伊藤委員はご欠席

北畑 亨 (熊野市観光スポーツ交流課
スポーツ交流係長)

清水 栄嗣 (NPO法人伊賀フューチャーズ
クラブ理事長)

辻 正敏 (株式会社辻工務店取締役社長)

堀越 英範 (三重県高等学校体育連盟理事長)

前田 浩司 (三重県障害者スポーツ協会
専門委員会 委員長)

※前田委員はご欠席

ファシリテーター

杉田 正明 (国立大学法人三重大学教育学部
教授)

<推進会議の進行概要>

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 14:30

- ・スポーツ推進局長あいさつ
- ・県事業の説明

プロジェクト推進についての意見交換

- ・各委員からの取組紹介
- ・地域スポーツの推進や競技力向上のため
に向けた課題など

今後のスケジュール

閉会 16:10

(スポーツ推進局長あいさつ、県事業の説明)

冒頭、推進会議のスタートにあたって、山口千代己スポーツ推進局長から委員の皆さんへのご挨拶とともに、「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」がめざす姿や到達目標について説明しました。

また、プロジェクトを構成する2つの実践取組における本年度の具体的な事業について、事務局職員から説明しました。

※2つの実践取組

- ①「スポーツによる地域の活性化」
- ②「スポーツを支える人づくり」



（プロジェクト推進についての意見交換）

続いて、杉田教授の司会により、プロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。各委員からは、それぞれが取り組まれている活動の報告、また活動の中で感じる地域スポーツの推進や競技力向上にあたっての現状や課題について意見が出され、活発な意見交換が行われました。

委員からの主な意見

平成33年の国体の地元開催にむけて、もっと戦略的に県民に対してPRするべきである。

国体開催によりスポーツが注目されるので、そのチャンスを利用してスポーツへの関心を持続させることが重要である。

スポーツの裾野を広げることと機会を創出することが重要である。例えば、総合型地域スポーツクラブ同士の対抗戦を行ってはどうか。そういう機会の中から、優秀な選手が優秀な指導者に出会って、スポーツ人材の育成や競技力の向上につながることもあるのではないか。

国では経済同友会と連携しながら、「あすなびプロジェクト」として、オリンピックに出場する選手を1社1人受け入れて、雇用するという取組をしている。三重県でも商工会と連携して同様の取組ができないか。

スポーツをする人口が増えるだけでなく、スポーツをみるファンが増えたり、スポーツ大会の運営等を支える人が増えるといったように、スポーツの基盤が三重県に根付いてほしい。

中学校・高等学校で運動部活動をする生徒が減少している。高校生の部活動への定着をいかに進めていくのが重要である。

部活動をしている高校生について、高校卒業後の受け皿が課題である。高校と地域の商工会との連携を図っていく必要がある。

総合型地域スポーツクラブ経営者やスポー

ツ指導者が職業として成り立つような仕組みが必要である。

など

（今後のスケジュールについて）

最後に、9月頃に開催する次回会議については、本年度の取組の進捗状況の報告と翌年度に向けた取組方向を中心に話し合うこと、また、翌年度に向けた意見交換の場として2月頃に3回目の会議を開催する予定であることを確認しました。



次回（第2回）の開催予定

次回（第2回）推進会議は、平成25年度当初予算編成に推進会議からの意見・提案が反映できるよう、9月に公開で開催する予定です。